

まちのわだい



身近な出来事や旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

日野の良さをテレビで宣伝

NHK「三枝一座がやってきた!」公開収録

1月22日(木)、わたむきホール虹において、開館15周年を記念して「三枝一座がやってきた!」の公開収録が行われました。事前に日野幼稚園の子どもたちが入場者の抽選のお手伝いにくじ引きを行いました。



当日は多くの参加者で会場がいっぱいになりました。番組には、町を宣伝するために、日野筒鉄砲研究会の方、日野菜を活かした料理を紹介するお店の方、カロム大会で優勝した子どもたちが出演。その後、桂三枝さんが「日野筒鉄砲」「日野菜」「カロム」の言葉を使って落語を披露されました。この番組は2月26日(木)にNHKのBS2で放送されました。



▲日野筒鉄砲研究会の方が鉄砲の複製品を使って当時の状況を再現されました

地域の宝(文化財)を地域で守る

西明禅寺で消防訓練

1月24日(土)、文化財防火デー(1月26日)を前に、西明禅寺において、消防訓練が行われました。この訓練は、貴重な文化財を火災から守るため、地域の方々と一緒に行われたものです。

木造2階建ての庫裡から出火し、近隣の方が本堂に安置されている重要文化財の「木造十一面観音立像」を屋外へ搬出しようとしたところ、煙を吸って倒れ、動けなくなると想定しての訓練が行われました。

この訓練には、西明寺自警団、西明寺女性防火クラブ、日野町消防団第一分団、そして、日野消防署の方が参加されました。訓練に参加された方々は、きびきびと動かれ、本番さながらに訓練をされていました。

防火と、貴重な文化財を守る意識を高める機会となりました。



▶現場本部が設けられ、きびきびと指示をされていました



▶延焼防止のための「水幕」をはる訓練も行われました



▲ご住職に仏像に見立てた箱を無事手渡す



西明寺女性防火クラブの方たちによる初期消火訓練



まちのわだい

炭を使っておもちを焼いた！

西大路小学校の窯から炭出し

2月3日(火)、西大路小学校3年生10名が、学校の窯から炭出しを行いました。炭焼きを指導された橋本晃一さんと山田浩之さんたちと一緒に炭を出しました。実験用に缶の中に入れておいたゆずやわらの縄も出すと、それらの形は変わらず、小さくなって炭になっていました。

その後は、橋本さんが縄文時代の火起こしの実演をされ、それを火種に炭に火をつけ、七輪を使って、おもちを焼きました。子どもたちは火を消さないように竹で火を一生懸命おこしていました。

最後は、焼けたおもちを「おいしい！」と嬉しそうにみんなで食べていました。



▲できた炭でおもちをこんがり焼きました



▶出土品についての説明を聞く参加者



▶韓国語の数字を説明する馬場先生

古墳時代の出土品が目の前に

番場遺跡(三十坪地先)発掘調査報告会

2月14日(土)、必佐公民館で「番場遺跡発掘調査報告会」が行われました。

番場遺跡とは、三十坪の西側に広がる遺跡で、必佐ハイパスの工事に伴って調査が行われたものです。この調査は、昨年6月から今年1月まで、(財)滋賀県文化財保護協会がシルバー人材センターや地元の方々との協力も得て行われました。

報告会では、古墳時代中期の後半に作られた土器、木製の網代、ナスビ形の鍬や桃の種と思われるものなどが発見されたことが説明されました。出土した網代は、非常にまれで、全国でも数例しか出土していないものです。三十坪の歴史を考えるうえでも、貴重な発見となりました。

今年も韓国語講座が始まりました

日野町国際親善協会が開催

日野町国際親善協会主催の「韓国語講座」が、1月19日(月)から3月16日(月)まで全5回開催されています。受講生は22名。日野町は韓国・恩山面と姉妹都市提携を結んでおり、この講座は、韓国語に親しんでいた多く機会を作ること行われているものです。

講師には馬場平三郎さんをお迎えし、第1回目は、1から10までの数字やハングル文字の子音と母音を学びました。第2回目は、自己紹介など会話の練習も行われました。席を決めるときに、くじ引きでハングル文字の数字を解読し、学んだ数字を活用しました。韓国の歌を聞く機会もあり、毎回趣向をこらした内容で開催されています。